授業科目	コミュニケーション 〔健康 1〕				担当教員	菊地 健太					
対象年次・学期	1年・負	集中		必值	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的	J\$2	ニケーシ	ノョンを通じて、	自分自	目身の課題を抽	出し、克服する。					
到達目標	社会で	社会でも柔軟に対応できるコミュニケーションスキルの向上及び志向となることを目指す。									
テキスト・ 参考図書等	Referer	Reference Book(公益財団法人日本スポーツ協会)									
	評価ス	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		0								
評価方法・	レポー	۲		レポー	- ► 20%						
評価基準	小テス	٢			勿 20% 4 60%(妥替	姿勢、受講態度等	52006 扫尘	(新月 20%)			
	提出物			- C 07	5 0070(支庫	女务、又畊忠反司	F 30 70 、 1 <u>1</u> =	1月足 30%)			
	その他	L) FIF		11 +>+	バンはルブいき	ます。、人との信頼	西胆戊士祭ノ	+ H D N			
履修上の 留意事項	して『:	コミュニ		とても	大切です。社	より。、人との信念 会人に向けての大					
履修主題・	回		履修主題			履修内	內容				
履修内容	1	75.7	ュニケーションと	は?	『自分を知ってもらおう!』 自己紹介						
		日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日									
	2	٦٤.	ュニケーションと	は?	『自分を知っ 問答ゲーム"						
	3		1ニケーションと 1ニケーションと		『自分を知っ 問答ゲーム』 『自分を知っ 社会人として	ってもらおう!』 「必要なコミュニケ	「ーションと	は?			
		コミュ		は?	『自分を知っ 問答ゲーム』 『自分を知っ 社会人として 『自分を知っ	ってもらおう!』 「必要なコミュニケ ってもらおう!』		は?			
	3]]]	1ニケーションと 1ニケーションと 1ニケーションス	は?	『自分を知っ 問答ゲーム』 『自分と知っ 社会人分を取して 『自うる。 伝える話を上述	o てもらおう!』 「必要なコミュニク でもらおう!』 o る、考えを引き出 むしよう!』	ぱす				
	3	コミュの向上コミュの向上	1二ケーションと 1二ケーションと 1二ケーションス 5 1二ケーションス	は? は? キル キル	『問答日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	oてもらおう!』 「必要なコミュニク でもらおう!』 oる、考えを引き出 しよう!』 むくするためには /	ぱす 選き上手に	なるためには			
	3 4 5	コミュの向上コミュの向上	1二ケーションと 1二ケーションス 1二ケーションス こ 1二ケーションス こ	は? は? キル キル	『問答目の では できません できません できまた できまた できまた できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる しい かい	でもらおう!』 「必要なコミュニク でもらおう!』 」のる、考えを引き出 しよう!』 とくするためには / むしよう!』 むよう!』	当す 「聞き上手に 類関係を築く	なるためには			
	3 4 5 6	コミュの向上コの向上コの向上	1二ケーションと 1二ケーションス 1二ケーションス こ 1二ケーションス こ	は? は? キル キル	『問題を記述のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	でもらおう!』 「必要なコミュニク でもらおう!』 」のる、考えを引き出 しよう!』 とくするためには/ をしよう!』 こるためには/信頼	当す 「聞き上手に 類関係を築く	なるためには			
	3 4 5 6 7	コ コ コ コ コ の コ の コ の コ の ロ に 向 上 の ロ に 向 上 の 力 に 向 上 の 対 他 者	1 二ケーションと 1 二ケーションス 1 二ケーションス 1 二ケーションス こ 1 二ケーションス	は? は? キル キル	『問題を記述のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	でもらおう!』 「必要なコミュニク でもられるう!』 しる、考えを引き出 しよう!』 とくするためには/ をしよう!』 こるためには/信頼 しよう!』 に動を選ぶためにに	当す 「聞き上手に 類関係を築く	なるためには			
	3 4 5 6 7 8	コココのコのコの対他者対し	1二ケーションと 1二ケーションス 1二ケーションス 1二ケーションス 1二ケーションス 1二ケーションス 5 1二ケーションス	は? は? キル キル	『問『社『伝『第『質『盛 コリー 日答自会自え会一会問会り ミータが分人分る話印話上話上 ュ ダース のいまし ダース しつ めば しんしつ しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんし	でもらおう!』 「必要なコミュニク でもられるう!』 しる、考えを引き出 しよう!』 とくするためには/ をしよう!』 こるためには/信頼 しよう!』 に動を選ぶためにに	当す 「聞き上手に 類関係を築く	なるためには			
	3 4 5 6 7 8 9	コココのコのコの対対対対対対対	1 ニケーションと 1 ニケーションと 1 ニケーションス ニ ニケーションス ニ ニケーションス ニ オカを磨こう	は? は? キル キル	『問『社『伝『第『質『盛コリプ 自答自会自え会一会問会リミーレ 分ゲ分人分る話印話上話上ュダゼ を一をとを、を象を手をがニーン でである。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	でもらおう!』 「必要なコミュニク」でもらおう!』 してもられるといる、考えを引き出しよう!』 しくするためには / 信頼 しよう!』 にるためには / 信頼 しよう!』 にあためには / 信頼 でしよう!』 できるといるには / 信頼	当す 「聞き上手に 類関係を築く	なるためには			
	3 4 5 6 7 8 9	コココのコのコの対対対対対対対対対対対	1 二ケーションと 1 二ケーションと 1 二ケーションス 1 二ケーションス 1 二ケーションス 1 二ケーションス 5	は? は? キル キル	『問『社『伝『第『質『盛コリプ 自答自会自え会一会問会リミーレ 分ゲ分人分る話印話上話上ュダゼ を一をとを、を象を手をがニーン でである。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	でもらおう!』 「必要なコミュニクでもられる」。 でも考えを引き出いる、ようとからない。 しようとかには/ をしよめには/信頼を選ぶためには ・ションスキル・ションスキル・ションスキル	当す 「聞き上手に 類関係を築く	なるためには			
	3 4 5 6 7 8 9 10	コココのコのコの対対対対対対対対対対対	1 ニケーションと 1 ニケーションと 1 ニケーションス ニ ニケーションス ニ ニケーションス 計力を磨こう 計力を磨こう 計力を磨こう	は? は? キル キル	『問『社『伝『第『質『盛 コ リ プ フ そ 自答自会自え会一会問会りミ ー レ ァ の 分が分人分る話印話上話上 ュ ダ ゼ シ 他 の で エ グ ジ ナ の の か y で が ま が こ ー ン リ の か y で か ま で が ま が で か ま で が ま で が ま で が ま で が ま で が ま で か ま で ま で	でもらおう!』 「必要なコミュニクでもられる」。 でも考えを引き出いる、ようとからない。 しようとかには/ をしよめには/信頼を選ぶためには ・ションスキル・ションスキル・ションスキル	関き上手に関関係を築く	なるためには ためには			
	3 4 5 6 7 8 9 10 11	ココロのコのコの対対対対対他の対対対対地の対対が対対が対対が対対が対対対対対対対対対対対対対対	1 ニケーションと 1 ニケーションと 1 ニケーションス ニ ニケーションス ニ ニケーションス 活力を磨こう 活力を磨こう 活力を磨こう 活力を磨こう	は? は? キル キル	『問『社『伝『第『質『盛コリプフそコ自答自会自え会一会問会リミーレァの一分が分人分る話印話上話上ュダゼシ他チを上に上るケシテー対ののののかがです。 かいり かいし 知道に は まいし かいり	でもらおう!』 でもらおコミュニク でもまるまえを引き しくするためには / 信頼 にるためには / 信頼 にはを選び、ためにに でションキル ・ションスキル ・ションスキル ・ションスキル	聞き上手に 関係を築く t	なるためには ためには ト			

授業科目	コミュニケーション 〔健康 1〕	担当教員	菊地健太		トレーニング指導者
1文末17口	コーユーノ ノョン (陸隊・)	実務経験	有:	無:	「レーン)1日寺日
対象年次・学期	1年・集中	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	スポー		・障害の基礎	担当教員	高田 涼介					
	1 22.50			.以.按 \B.+D.云.八	.N. 115	77 (7- #F				
対象年次・学期	1年・前	进 牛		必修・選択区分	必修	単位数				
授業形態				授業回数	30 回	時間数	60 時間			
授業目的	な知識	について	て理解する。その	ーツ指導者が活動を ために、上肢・体幹 得することをねらい	・下肢の主なスオ					
到達目標	各スポー	ーツ外係	易・障害について	の概要をわかりやす	て説明できるよう	うになる。				
テキスト・ 参考図書等	Reference Book(公益財団法人日本スポーツ協会) 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト(3巻:スポーツ外傷・障害の基礎知識)									
	評価	方法	評価割合(%)		評価基準					
	試験		0							
評価方法・ 評価基準	レポー		0	****A 7 A // 17 ***	' 加 計	\ 				
可 测	小テス 提出物		60	試験、その他(受講	妥勢、 受講態)を総合的に	泮1回りる。			
	提出物 その他		40							
	テキス			。PPT による授業刑						
履修上の 留意事項	等も随時利用していく。授業の前後に小テストを行い、授業の理解度を確認する。トレーナー、スポーツ指導者を目指すにあたり必要不可欠な科目です。難しい用語・解剖学的用語が多く出てきますが、基礎的なことから学んでいきますので一つずつ確実に理解し、修得して下さい。また、予習・復習する習慣をつけ、積極的に授業に取り組んで欲しいです。この科目を理解する為に、『身体の解剖と機能』についてもしっかり学習しましょう!みなさんの頑張りを期待しております 1人1冊ノートを用意して下さい									
 履修主題・			履修主題		履修	内容				
履修内容	1		ブンス / スポーツ 章害総論	外講義の説明、	その他					
	2	スポ-	- ツ外傷・障害総	論 スポーツ外値	易とは、スポーツ	障害とは				
	3	(2)	-ツ外傷・障害総	スポーツ外1	易とは、スポーツ 『	障害とは /	炎症症状			
	4	(3)	- ツ外傷・障害総	制場治癒に	ついて					
	5	スポー(4)	- ツ外傷・障害総	論骨損傷につい	ハて(骨折、疲労	骨折の固有症	状)			
	6	(5)	-ツ外傷・障害総	刺帝、軟部為	組織損傷について					
	7	スポー(6)	-ツ外傷・障害総	論 ダイナミック	ウアライメントと <i>:</i>	スポーツ障害				
	8		トアスト	過去範囲の	確認問題					
	9	(1))スポーツ外傷・	腰椎椎间板	ヘルニア					
	10	(2))スポーツ外傷・		ヘルニア					
	11	(3))スポーツ外傷・	腰惟分離征						
	12	(1))スポーツ外傷・	月月即則力	悦臼					
		L L D+ 4	つスポーツ外傷・	障害 肩鎖関節脱臼						
	13	(2)		月頭魚即加口						
	13 14	(2)	容まとめ		_ め / 試験対策、練	望問題配布 -				
		(2) 前期内 確認5	P容まとめ Fスト	前期のまとの前期全範囲	カ/試験対策、練習	習問題配布				
	14	(2) 前期内 確認5	容まとめ	前期のまとの前期全範囲に	カ/試験対策、練習					

	1	
	(2)	
18	下肢のスポーツ外傷・障害 (3)	ACL 損傷
19	下肢のスポーツ外傷・障害 (4)	腓腹筋肉離れ / アキレス腱断裂
20	下肢のスポーツ外傷・障害 (5)	脛骨過労性骨障害 / 下腿疲労骨折
21	下肢のスポーツ外傷・障害 (6)	コンパートメント症候群 / 扁平足障害
22	確認小テスト	過去範囲の確認問題
23	上肢のスポーツ外傷・障害 (3)	肩腱板損傷
24	上肢のスポーツ外傷・障害	投球肩障害
25	上肢のスポーツ外傷・障害	肘関節内側側副靭帯損傷
26	上肢のスポーツ外傷・障害	上腕骨内側上顆、外側上顆炎、滑膜ひだ障害
27	上肢のスポーツ外傷・障害	手関節捻挫
28	上肢のスポーツ外傷・障害	TFCC 損傷
29	後期のまとめ	1年のまとめ/試験対策、練習問題配布
30	確認テスト	1年のまとめテスト

授業科目	スポーツ外傷・障害の基礎〔健	担当教員	髙田涼介		鍼灸師、アスレティックトレーナ
	康 1 〕	実務 経験	有:	無:	一、健康運動指導士
対象年次・学期	1年・通年	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		 担当 教員			
		実務経験			
		担当教員			
		実務経験			
		小工物大			

授業科目	ダンス <i>/</i> 〔IN1〕	パフォー	-マンス		担当教員	三好真里				
 対象年次・学期	1 年・道	 甬年		必但	 多・選択区分	必修	単位数			
授業形態	. , ~	- '			授業回数	30 🗉	時間数			
以未が必					1文米口奴	30 E	村川町数			
授業目的	ダンス・	インスト	〜ラクターと して	の知識	哉とダンススキ	ルを身につ	ける。			
到達目標			Dプログラム(選 Cダンサーとして				サイズと基礎指導 。	ができる。		
テキスト・ 参考図書等										
	評価ス	方法	評価割合(%)			評值	価基準			
	試験		60							
評価方法・ 評価基準	レポー		0	÷₽₽₽	マの仏/巫綝:	欠劫 亚维纳	· 库笠\ <i>+ W</i> 人 的 I = =	亚伊士之		
- 計画季年	小テス 提出物		0	試験、	その他(受講会	姿勢、	態度等)を総合的に記	半1回する。		
	その他		40							
履修上の 留意事項	ダンスを	を通し色	 色々な方向性や可	「能性を	҈目指す為、個	々のスキル:	アップを常に目指す	† .		
履修主題・	0		履修主題		履修内容					
履修内容	1	オリコ	ロンテーション		授業について諸注意、ダンスの仕事について					
	2	ダンフ ンの§	スの基礎知識・レ 受け方	/ ツス	ジャンルとレッスンプログラムの理解					
•	3	ダンフ 験	スエクササイズ流	れ体	デモレッスンの説明と理解					
i	4		スエクササイズと ップ習得	基本	デモレッスン	ノとステップ	の理解			
	5		スレッスンの一連	の理	ダンスエク† ーティン	ササイズ・筋	iトレ・ストレッチ	・ステップ・ル		
	6	"	-		"					
	7	ダンフ	スジャンル別の理	解	音楽と動きの分類					
	8	"			HIPHOP の基	基礎知識と動	作			
	9	"			<i>II</i>					
	10	"			リズムの違い	Nを理解(Sc	oul・Lock) (動画技	最影について)		
	11	"			"					
	12	フリ-	-スタイル		表現と創作			/ JL = 1++ 15 ·		
	13	フリ-	-スタイルと振付	†	いて)		変化と振付の構想	•		
	14	"			基本のダンス 構成について		を覚え、個々の表	現と振付(曲の 		
	15	前期記			振付とフリー	-スタイル (技術や表現)			
	16	身体の解	D軸と重心の違い	の理	ターンの基本	なと JAZZ 基	礎			
	17	//			"					
	18		ブンス / 2 年と合 ※業作品制作補助		グループ分け	けと選曲・パ	ート別け			
	19	"			カウントの耳	収り方と振付	の組み方			
	20	"			各振付のチュ	ニックとアド	バイス			
	21	"			ショープログ	ブラミングの	流れと変化(音楽	編集について)		

22	"	ダンス振付の技術向上とスキルアップ
23	指導基礎の理解	対象者別のスキルや表現の打ち出し方
24	総合指導練習/卒業作品制 作補助練習	ダンスエクササイズ(アイソレーション・筋トレ・ストレ ッチ・振付のプログラミング)
25	"	II .
26	"	ダンスエクササイズ (動画編集について)
27	"	п
28	ダンスショープログラミン グ総合	ダンスイベントの参加
29	後期試験	60 分間のレッスンプログラム(初級)
30	"	n .

担当						
対象年次・学期 1年・通年 担当員 実務 経験 担当 国 対 財 対 国 対 対 経験 担 国 国 対 経験 担 国 国 対 財 和 国 国 対 財 和 国 国 対 財 和 国 国 対 財 和 国 国 対 財 和 国 国 和 国 国 国 和 国 国 国 国 和 国 国 国 国 和 国 国 国 和 国 国 和 国 国 国 和 国 国 国 国 和 国 国 国 国 和 国 国 国 国 和 国	授業科目	ダンスパフォーマンス 〔IN1〕	教員	(Sis.MARI)		ダンスインストラクター
T			経験	有:	:	
接続 担当	対象年次・学期	1 年・通年	担当 教員			
教員 実務檢 担教 実経 担教 実 教験 担教 実 教験 担教 大田 教 大	授業形態		実務 経験			
经験 担当員 実務験 担教 実務験 担教 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験			担当 教員			
教員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 担對員 実務 提						
経験 担教 実務験 担教 実務験 担教 実経 当員 実経 当員 実経 当員 実経 出教 実務 担教 実経 担教 実			担当 教員			
教員 実務 担教 実務 担教 実務 担教 実務 担教 政務 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務						
経験 担對 実務 担数 実務 担数 実務 担数 実務 担数 実務 担数 実務 担当 実務 担当 実務 担当 実務			担当教員			
教員 実務 経験 担判 教験 担判 教験 担当 教験 担当 教験 担当 教験 担当 教験 担当 教験						
経験 担当 対						
教員 実務終 担当員 実務 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験						
経験 担對員 実務験 担對員 実務験 担對員 実務						
教員 実務 担当教員 実務 担当教員 実務 担当教員 実務						
経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務			担当 教員			
教員 実務 経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務			実務 経験			
経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務						
教員 実務 経験 担当 教員 実務			実務経験			
経験 担当 教員 実務			担当 教員			
教員			実務経験			
実務			担当教員			
			実務経験			

授業科目	ダンスパフォーマンス 〔IN1〕				担当教員	三好 真里子					
対象年次・学期	2 年・道	通年		必何	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	30 回	時間数	60 時間			
授業目的	ダンス・	インスト	-ラクターとして	の知識	ぱと技術を向上	し、60 分のダン	スレッスン指	導を目指す。			
到達目標	ダンス: る。	ショーの	ロプログラム・タ	ブンスィ	(ンベント運営	スタッフ・ダンフ	(レッスン指導	尊を可能にす			
テキスト・ 参考図書等											
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		60								
評価方法・	レポー	-	0								
評価基準	小テス	7	0	試験、	その他(受講会	姿勢、受講態度等)を総合的に	評価する。			
	提出物		0								
 履修上の	その他	乳して	40	たべー	フロフキルマ	 ップを向上しなか	に 女頂日に	- 取り組んでい			
留意事項	きます。		ランスレッス ン	æ-\-	へにステルア	グンを同工しなり	. 5、日培日1	と取り組化でい			
履修主題・	回		履修主題		履修内容						
履修内容	1		ニンテーションと 楚の確認)	:実技	目標や目的の確認と方向性の理解						
	2		ス技術の向上		目標や目的の確認と方向性の理解						
	3	"			n n						
	4	ダンフ ングと	スレッスンプロク :動作	゙ラミ	ダンスレッスンで技術を向上しながら、ダンスショーの創 作						
	5	"			и						
	6	創作を	ブンスと舞台構成	につ	舞台についての知識や構成・照明プランを学ぶ(動画撮影/絵コンテの考察)						
	7	"			// ma = 2 2 3 3 3 3 7 1						
	8	"			И						
	9	創作と	≤表現		創作したダン す	/スを伝えること	こより、指導	力の向上を目指			
	10	"			"						
	11	"			創作したダンスを伝えることにより、指導力の向上を目指す (曲の制作/リズムの組み合わせ)						
	12	創作を	ブンスの発表と見	直し		表を通し、創作		 見直し			
	13	創作る		.	完成したプロ		 化とスキルア	ップを目指す			
	14		ブンスの調整とタ ノトの運営につい		ダンスイベン	/トを運営する為	こ必要な知識	の習得			
	15	前期記		-	ダンスショ- フ)	- プログラミング	総合(イベン	ト参加スタッ			
	16	ダンフ	スのジャンルと方	向性							
	17	"			対象者の違い	1やダンスの仕事(の分類				
	18	ダンフ	ス指導の分類		対象者に合れ /制作)	かせた打ち出し方	とスキルにつ	いて(動画編集			
	19	"			11						
	20	"			"						

1	#X = 11 11 12 11 6 17 44 1 44	
21	│ ダンスリハビリの目的と効 │ 果	身体・知的・精神など障害のある対象者に向けたプログラ ムを学ぶ
22	"	п
23	"	ıı .
24	ダンスリハビリの実践	病院や施設でのレクリエーションレッスン
25	ダンススキル向上と総合指 導練習	個々のダンススキルを向上しながら指導技術を高めていく (指導プログラム動画制作)
26	<i>II</i>	и
27	"	ıı .
28	"	ıı .
29	後期試験	60 分間のレッスンプログラム(ジャンル・対象者を指定 したレッスン)
30	"	ıı .

授業科目	ダンスパフォーマンス 〔IN1〕	担当教員	三 好 (Sis.MAF	真 里 子 RI)	ダンスインストラクター
		実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	2年・通年	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	ビジネススキル〔健康 1〕			担当教員	矢島	靖子			
対象年次・学期	2年・後	美期 1 年	 F・後期	必但	*************************************	必修		単位数	
授業形態					授業回数	15 回		時間数	30 時間
授業目的	解を目的	りとする	台に先立ち、社会 る。就職後を見据 刃歩的なビジネス	え、社	上内外で信頼を				
到達目標			自覚を持ち、日常 学内外において評						
テキスト・ 参考図書等	教科書(教科書(社会人常識マナー検定テキスト 2・3 級) プリント配布							
	評価方	法	評価割合(%)				評価基準		
	試験		60						
評価方法・	レポート	`	0						
評価基準	小テスト	`	30	評価語	式験60%、小	テスト3	3 0 %、宿息	題10%	
	提出物	10							
	その他	D = 1= N	0	11b 1			s_0		
履修上の 留意事項	授業を通	通し、-	業を通し上記の知 −人の大人として ここで身に付け	必要な	心構えを身に	付け、と	ごジネス社	会へはばたく	くための準備を
履修主題・	回		履修主題				履修内	內容	
履修内容	1	自己約			マナーとは				
	2	を心情	t会人としてのマ 聞え	ナー	服装・髪型・挨拶・お礼・姿勢・時間管理・報告・コミュ ニケーションスキル・整理整頓				
	3	それ と心権	t会人としてのマ ^{構え}	ナー	服装・髪型・挨拶・お礼・姿勢・時間管理・報告・コミュ ニケーションスキル・整理整頓				
	4	ネ と心権	土会人としてのマ 購え	ナー	服装・髪型・挨拶・お礼・姿勢・時間管理・報告・コミュ ニケーションスキル・整理整頓、小テスト				
	5	接客	客対応		居振る舞い				、お辞儀、立ち
	6	接答	客対応		居振る舞い、	小テス	٢		、お辞儀、立ち
	7	Ē	電話対応		仕方と渡した	す など			い換え、メモの
	8		電話対応		仕方と渡し方	」 など	、小テスト		い換え、メモの
	9	ビシ	ゾネス文章とEメ	ール	件名、返信、				
	10	ビシ	ジネス文章とEメ	ール	テスト				文章の取り、小
	11	ビジネスシーン			名刺交換、座			• • • • •	· ·
	12	t	ごジネスシーン		٢				ナー)小テス
	13	1	È業に属するとは		ーク、ハラス	スメント	、ネットし	 テラシー	行事、チームワ
	14	1	È業に属するとは		ーク、ハラス	スメント	、ネットし		行事、チームワ 小テスト
	15	i	式験対策		問題練習 / 解答解説				

授業科目	ビジネススキル〔健康 1〕	担当教員	矢島靖子		英会話講師
1又来作口	こノ か入入 Tル (実務 経験	有:	無:	火云山뼈叫
対象年次・学期	2年・後期1年・後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	ベーシ [・] 〔IN1〕		ノーニング		担当教員	菊地 健太				
対象年次・学期	1年・迫	通年		必但	と 選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数	30 回	時間数	60 時間		
授業目的						種マシン等の適切 ルを身につける。	 な使用方法、	マシンジムの		
到達目標)内容を理解し、 が安全に効果的に			うになる。				
テキスト・ 参考図書等	ベーシ	ックトレ	ィーニングテキス	۲						
	評価な	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		40							
評価方法・ 評価基準	レポー	_			筆記試験の点	i数、小テスト、指	受業態度、意	欲、姿勢で判断		
可順坐平	小テス 提出物	'		する。 後期 <i>0</i>	つみ定期試験(筆記)を行う。				
	その他									
	マシン					・フリーウエイト				
履修上の 留意事項	ースを有効に活用します。マシンジムはお客様との共有施設です。広い視野を持ち、気遣いを心がけて下さい。トレーニングは「基本」が大切です。この授業を通じて、正しい体の動かし方、 姿勢、テクニックを身につけましょう。トレーナー、インストラクター、コーチとして自らが模 範となれるようにトレーニングを実践していくことが大切です。									
履修主題・			履修主題			履修[内容			
履修内容	1	ガイタ イズ	ブンス、自重エク	ササ	授業評価につ	いてノトレーニン	ノグ機器・施	設・安全管理		
	2	マシン	ノトレーニング		iB マシンの使用方法と実践:上肢(小テスト実施)					
	3	マシン	ノトレーニング		iB マシンの値	ノンの使用方法と実践:下肢(小テスト実施)				
	4	マシン	ノトレーニング		iB マシンの使用方法と実践:カーディオ、上下肢復習 (小テスト実施)					
	5	実技証	式験		エクササイズテクニック実技(上肢・下肢)					
	6		ニクササイズ 1、/ シション・デッド		デッドリフト	ドリフトについて				
	7	ーポシ ト	ニクササイズ 1、 / バション・デッド	リフ	フォーム習得	Ŧ				
	8	ーポシ ト	ニクササイズ 1、ノ シション・デッド 	リフ	負荷を加えて	このデッドリフト				
	9	ーポシ ト、/	ニクササイズ 1、ノ シション・デッド ヾックスクワット	リフ		のデッドリフト(クワットについて	小テスト実旅	も)、パワーポジ		
	10		ニクササイズ 2、ノ アワット	バツ	バックスクワ	リットについて				
	11	コアエ	ニクササイズ 2、 / フワット	バッ	フォーム習得	ļ				
	12	コアコ クスク	ニクササイズ 2、ノ アワット		負荷を加えて	このバックスクワッ	y F			
	13		ニクササイズ 2、ノ アワット	<u></u> バッ	バックスクワット(小テスト実施)					
	14	前期復	習		筆記試験、実技試験に向けた復習					
	15	実技詞			エクササイス	サイズテクニック実技(デッドリフト、スクワット)				
	16	コアュ チプレ	ニクササイズ 3、⁄ ѵス	ベン	前期復習、ベンチプレスについて					

17	コアエクササイズ 3、ベン チプレス	フォーム習得
18	コアエクササイズ 3、ベン チプレス	負荷を加えてのベンチプレス
19	コアエクササイズ 3、ベン チプレス	負荷を加えてのベンチプレス(小テスト実施)
20	実技試験	エクササイズテクニック実技(ベンチプレス)
21	補助エクササイズ 1	背部のエクササイズ(小テスト実施)
22	補助エクササイズ 2	下肢のエクササイズ(小テスト実施)
23	補助エクササイズ3	胸部のエクササイズ(小テスト実施)
24	補助エクササイズ 4	肩のエクササイズ(小テスト実施)
25	補助エクササイズ 5	上肢のエクササイズ(小テスト実施)
26	補助エクササイズ 6	体幹のエクササイズ、自重(小テスト実施)
27	補助エクササイズ 7	全体復習
28	補助エクササイズ8	筆記試験、実技試験に向けた復習
29	実技試験	エクササイズテクニック実技、口答試験
30	実技試験	エクササイズテクニック実技、口答試験

授業科目	ベーシックトレーニング〔IN1 〕	担当教員	小倉大生		アスレティックトレーナー
IXXIII		実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・通年	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	運動生	理学〔例	建康 1 〕		担当教員	小野寺 良太			
 対象年次・学期	1 年・ji	 通年		必何		必修	単位数		
授業形態					授業回数	30 回	時間数		
授業目的	解剖で	覚える間	関節や筋肉がど <i>の</i>	ように	三動くのかなど	身体のメカニズ <i>L</i>	√を理解する。		
到達目標	解剖学的	的用語を	きつかって、身体	(のメナ	コニズムを自分	の言葉で説明でき	きるようにする	ა .	
テキスト・ 参考図書等	身体	運動の棚	幾能解剖、 ステ	・ップァ	⁷ ップ運動生理	学			
	評価	評価方法 評価割合(%) 評価基準							
	試験		0						
評価方法・	レポー		0	授業四	りでの試験(小	テスト)を中心に	こ提出物、そ	の他(受講姿勢、	
評価基準	小テス		80		態度等)を総合的			- 10/2H2221	
	提出物 10 70 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10								
履修上の 留意事項		との他 10 * 授業で配布するプリントを整理するファイル(A 4 サイズ)を用意すること。							
履修主題・	回		履修主題			履修	内容		
履修内容	1	ガイタ	 ヺンス		学習達成目標	 票、成績評価、諸》	 主意、その他		
	2	総論			人体の面や方	, 向、基本的運動	方向を示す用	語を覚える	
	3	総論			関節の形状と	:動き・関節可動は	或を覚える		
	4	総論			筋の種類・骨 式、骨格筋形	骨格筋の各部の名称 が状の分類	你(起始停止) 筋収縮様	
	5	総論			全身の主要な	要な筋肉名を覚える			
	6	復習							
	7	肉・豆) 肩関節の動きと 5配神経		肩関節周囲筋	(肩甲骨)と肩	関節の構造・	支配神経	
	8	と筋肉)肘関節・前腕の 肉・支配神経		前腕部の筋と肘関節の構造・支配神経				
	9) 手関節の動きと 5配神経	:筋	手関節の構造	手関節の構造と動き・支配神経			
	10	上肢帮	帯の動きと体幹の	筋	上肢帯の動き	、体幹の筋(胸語	部・腹部)		
	11		₹とめ						
	12	肉・豆) 股関節の動きと 5配神経		殿部の筋と脱	段関節の構造・支配	記神経		
	13	肉・豆) 膝関節の動きと <u>を配神経</u>		大腿部の筋と	た膝関節の構造・う	支配神経		
	14)下腿の筋と足関 ・支配神経	節の	下腿部の筋と	足関節の構造、	アーチの構造	・支配神経	
	15	下肢	まとめ&固有背筋	i	脊柱起立筋σ.)構成とその作用			
	16	前期内	内容復習						
	17	上肢の	D末梢神経		支配筋と末梢	肖神経障害			
	18		D末梢神経		支配筋と末梢	肖神経障害			
	19	経	D運動と筋肉・支		運動における	き主動筋・支配神経	怪のまとめ		
	20	関節の経	D運動と筋肉・支 	配神	運動における	5主動筋・支配神統	怪のまとめ		

21	骨格筋の収縮の仕組み	筋線維組成、骨格筋の収縮の仕組みと種類、運動の伝達
22	受容器 (筋紡錘と腱紡錘)	伸張反射・ b抑制
23	エネルギー供給機構	3 つのエネルギー供給機構
24	神経系	記憶、サーカディアンリズムと睡眠
25	感覚器	感覚の種類、痛覚、固有感覚
26	復習	
27	内臓機能	各臓器の働き (循環器系と呼吸器系)
28	内臓機能	各臓器の働き (消化吸収とその他の臓器)
29	重点項目のまとめ	
30	総復習	

授業科目	運動生理学〔健康 1〕	担当教員	小野寺良	太	鍼灸師、アスレティックトレーナ
1XX17 LI	<u>是到上</u> 在于(匠脉·)	実務経験	有:	無:	_
対象年次・学期	1年・通年	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	救急処間 1・健康		川講習〔トレ		担当教員	小笠原 鷹介				
 対象年次・学期	1年・賃	集中		必側	 多・選択区分	トレー・健康	単位数			
						I / 必修 15 回	時間数	30 時間		
授業目的	救急処証	置につい	いて学び、現場に	て実践	まできる。					
到達目標	救急処罰	置法検欠	官試験合格を目標	きとする) _o					
テキスト・ 参考図書等	救急処証	置法養原	 붗講習テキスト							
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・	レポー	-	0	= 5 = 4	試験、その他(受講姿勢、受講態度)を総合的に評価する。					
評価基準	小テス	<u> </u>	0	試験、						
	提出物		100							
履修上の 留意事項	特にな	L.	200							
履修主題・			履修主題			履修P	内容			
履修内容	1	オリコ	ニンテーション		救急処置法について					
	2	心肺薊	集生法①		胸骨圧迫の方法、注意点。					
						7/4\ /1/8/11/10				
	3	心肺劑	集生法②		人工呼吸の方					
	3	心肺 A E C			心肺蘇生・A	i法、注意点。 EDの使用方法、				
	-	AEC			心肺蘇生・A 心肺蘇生・A	i法、注意点。 E D の使用方法、 E D の使用方法・		去・注意点。		
	4	A E C))	心肺蘇生・A 心肺蘇生・A (担当教員:f	i法、注意点。 E D の使用方法、 E D の使用方法・	気道異物除			
	4 5	AEC AEC 救急班)の使用		心肺蘇生・A 心肺蘇生・A (担当教員:1 胸骨圧迫、人 救急現場に進	i法、注意点。 E Dの使用方法、 E Dの使用方法・ 左々木)	気道異物除	て。		
	4 5 6	AEC AEC 救急班))の使用 見場の総合実習① 見場の総合実習②		心肺蘇生・A 心肺蘇生・A (担当教員:1 胸骨圧迫、人 救急現場に遭 て。	ī法、注意点。 ▲ E Dの使用方法、 ▲ E Dの使用方法・ を々木) 、工呼吸の連続した	気道異物除 ・動きについ ・の引継ぎま	での流れについ		
	4 5 6 7	AEC AEC 救急理 救急理))の使用 見場の総合実習① 見場の総合実習②		心肺蘇生・A 心肺蘇生・A (担当教員:1 胸骨圧迫、人 救急現場に遭 て。	「法、注意点。 E Dの使用方法、 E Dの使用方法・ 左々木) 、工呼吸の連続した 選遇から医療機関へ 関節圧迫法の方法	気道異物除 ・動きについ ・の引継ぎま	での流れについ		
	4 5 6 7 8	AEC 教急野 救急野 止血污))の使用 見場の総合実習① 見場の総合実習②)	心肺蘇生・A 心肺蘇生・A (担当教員: f 胸骨圧迫、人 救急現場に進 て。 直接圧迫法、 止血法の実践	「法、注意点。 E Dの使用方法、 E Dの使用方法・ 左々木) 、工呼吸の連続した 選遇から医療機関へ 関節圧迫法の方法	気道異物除 動きについいの引継ぎま	での流れについ		
	4 5 6 7 8 9	AEC AEC 救急野 救急野 止血活 止血活))の使用 見場の総合実習① 見場の総合実習② 法 よ よ よ よ な は は は は は は は は は は は は は は は	法	心肺蘇生・A 心肺蘇生・A (担当教員: f 胸骨圧迫、人 救急現場に遭 て。 直接圧迫法、 止血法の実践 外傷に対して	7法、注意点。 E Dの使用方法、 E Dの使用方法・ 左々木) 、工呼吸の連続した 遭遇から医療機関へ 関節圧迫法の方法	気道異物除 動きについ の引継ぎまと注意点に	での流れについ		
	4 5 6 7 8 9	AEC 教急野 救急野 止血加 三角巾)の使用 見場の総合実習① 見場の総合実習② は は は は で は で は で は で は で は で は で は で	法	心肺蘇生・A 心肺蘇生・A (担当教員: f 胸骨圧迫、人 救急現場に遭 て。 直接圧迫法、 止血法の実践 外傷に対して	7法、注意点。 E Dの使用方法、 E Dの使用方法・ 左々木) 、工呼吸の連続した 遭遇から医療機関へ 関節圧迫法の方法	気道異物除 動きについ の引継ぎまと注意点に	での流れについ		
	4 5 6 7 8 9 10	A E C)の使用 見場の総合実習① 見場の総合実習② 法 法の演習 口を使用した固定 口を使用した固定	法	心肺蘇生・A 心肺蘇生・A (担当教員: f 胸骨圧迫、人 教急現場に遭 て。 直接圧迫法、 止血法の実践 外傷に対して 三角巾を使用	7法、注意点。 E Dの使用方法、 E Dの使用方法・ 左々木) 、工呼吸の連続した 遭遇から医療機関へ 関節圧迫法の方法	気道異物除 動きについ の引継ぎまと注意点に	での流れについ		
	4 5 6 7 8 9 10 11	AEC AEC 救急野 止血角質 一三演習記) の使用 見場の総合実習② 見場の総合実習② した はの演習 のを使用した固定 のを使用した固定 は験① は験① は験②	法	心肺蘇生・A 心肺蘇生・A (担当教員: f 胸骨圧迫、人 救急。 直接圧迫法、 止血法の実践 外傷に対して 三角巾を使用 試験実施	7法、注意点。 E Dの使用方法、 E Dの使用方法・ 左々木) 、工呼吸の連続した 遭遇から医療機関へ 関節圧迫法の方法	気道異物除 動きについ の引継ぎまと注意点に	での流れについ		

授業科目	救急処置法特別講習〔トレ1・	担当教員	遠藤	貢			
汉杰行口	健康 1〕	実務 経験	有:■		無:□		
対象年次・学期	1年・集中	担当教員	佐藤	隆			
授業形態		実務 経験	有:■		無:□		
		担当教員	秋葉	哲夫	=		
		実務 経験	有:■		無:□		
		担当教員					
		実務 経験					
		担当教員					
		実務 経験					
		担当教員					
		実務 経験					
		担当教員					
		実務経験					
		担当教員					
		実務経験					
		担当教員					
		実務 経験					
		担当教員					
		実務 経験					
		担当教員					
		実務 経験					

授業科目	見学実	習〔共〕	通1]		担当教員	今井 由美子				
 対象年次・学期	1年・1	 集中		必何	 俢・選択区分	必修	 単位数			
						15 回	 時間数	30 時間		
授業目的	プロのヨ	現場を見	見学し、今後のト	レーオ	┝−実習に活か	<u></u> す。				
到達目標	プロのヨ	現場を見	見学し、今後の目	指す^	、き方向性を説	明できる。				
テキスト・参考図書等	なし	なし								
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・	レポー	٢	0							
評価基準	小テス	١	0	受講	姿勢、出席状況	を評価基準とする。				
	提出物		0							
 履修上の	その他		100							
留意事項	特にな	U ₀			1					
履修主題・	回		履修主題		履修内容					
履修内容	1	プロt	ナッカー見学実習	習 プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。				学する。		
	2	プロt	ナッカー見学実習	1	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。					
	3	プロt	ナッカー見学実習	1	プロの現場、	トレーナーの動き	たついて見	学する。		
	4	プロ里	孙 球見学実習		プロの現場、	トレーナーの動き	たついて見	学する。		
	5	プロ墅	^{予球見学} 実習		プロの現場、	トレーナーの動きについて見学する。				
	6	プロ墅	^{乃球見学実習}		プロの現場、	トレーナーの動き	について見	学する。		
	7	プロノ	(スケ見学実習		プロの現場、	トレーナーの動き	について見	学する。		
	8	プロノ	(スケ見学実習		プロの現場、	トレーナーの動き	たついて見	学する。		
	9	プロノ	「スケ見学実習		プロの現場、	トレーナーの動き	について見	学する。		
	10	プロス	フットサル見学実	[캡	プロの現場、	トレーナーの動き	について見	学する。		
	11	プロフ	フットサル見学実	[習	プロの現場、	トレーナーの動き	たついて見	学する。		
	12	プロフ	フットサル見学実	[習	プロの現場、	トレーナーの動き	たついて見	学する。		
	13	プロノ	(レーボール見学	実習	プロの現場、	トレーナーの動き	たついて見	学する。		
	14	プロノ	(レーボール見学	実習	プロの現場、	トレーナーの動きについて見学する。				
	15	プロノ	ドレーボール見 学	実習	プロの現場、	トレーナーの動き	たついて見	学する。		

授業科目	見学実習〔共通 1〕	担当教員	土岐政義		アスレティックトレーナー
1支未行日	兄子笑自〔共旭〕〕	実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・集中	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	就職也	ミナー	〔健康 1〕		担当教員	今北 雄太				
対象年次・学期	各学科	就職学年	F前年・集中	必何	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数	15 回	時間数			
授業目的	就職への	の意識で	づけ、意欲向上を	:目的と	<u>:</u> する。	,				
到達目標	各種セングできる		こ積極的に参加す	- ること	で、社会人に	必要な知識・能力	について理解	解を深めること		
テキスト・ 参考図書等										
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験 0 セミ					各プログラムに対	する取り细え	み状況につい		
評価方法・	レポー	<u>- F 0 7</u>			目対的な判断に	て評価してもらう	。(セミナー	・担当者と当該		
評価基準	小テス	١	0		クラス担任間において情報交換し評価する場合もある。) 「レポート(感想、アンケート含む)」の提出をもって、取り組					
	提出物		100		兄を把握する。					
 履修上の					写等が大変重要	 となります。就職	活動がよりる	を実したものと		
留意事項						がら、目標達成を				
履修主題・	回		履修主題			履修内	容			
履修内容	1	オリコ	ンテーション		就職セミナーの目的説明、挨拶練習、その他					
	2	セミナ			就職活動と社会人					
	3	セミナ			就職活動と社					
	4	セミナ			シンポジウ <i>L</i> の他)	ム(就職活動開始か	^ら内定まで	、各種試験、そ		
	5	セミナ			シンポジウ <i>L</i> の他)	x(就職活動開始カ	ら内定まで	、各種試験、そ		
	6	セミナ			シンポジウ <i>L</i> の他)	ム(就職活動開始か	^ら内定まで	、各種試験、そ		
	7	セミナ			就活・スーツ	ノ・見出しなみにつ	いて			
	8	セミナ			就活・スーツ	ノ・見出しなみにつ	いて			
	9	セミナ			就活本番に向	けて				
	10	セミナ			就活本番に向]けて				
	11	セミナ			本当に必要な	入材とは				
	12	セミナ			本当に必要な	人材とは				
	13	セミナ			就活に向けての大切な第一歩!					
	14	セミナ			就活に向けて	の大切な第一歩!				
	15	まとめ	<u> </u>		レポート作品	、就職に関する意	試識調査、各	種アンケート等		

授業科目	就職セミナー〔健康1〕	担当教員	齋藤敬男		
1XX11 L	NUMBER 1	実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	各学科就職学年前年・集中	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務経験			
		担当教員			
		実務経験			
		N-197			

授業科目	就職実務〔健康 1〕				担当教員 藤田 真				
1又未行口	机概天	力(姓為			2000年				
対象年次・学期	3年/2	年・前	期	必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数	15 回	時間数		
授業目的						円滑な就職活動へ d り視野で自己分析を		と繋げる。	
到達目標			票とした社会人基 ることができる。	礎力を	身に付け、様	々な考え方を学び	、社会人とし	しての行動、判	
テキスト・ 参考図書等	必要に	応じて資	資料・プリント配	布なと	を行う				
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		0						
評価方法・ 評価基準	レポー		30	レポ-	- トおよび提出	課題(履歴書作成	() その他 (受講姿勢、受	
可順坐平	小テス 提出物	<u> </u>	30		き等)を総合的				
	その他		40						
履修上の 留意事項	ての他					-			
57/5 \ FT			履修主題			履修内	容		
履修主題・ 履修内容	1	ガイタ	ダンス		就職の現状、就活スケジュール、受験報告書の作成・提出 求人票の見方、求職票の書き方、履歴書台本作り 【パソコン持参】				
	2	就活準	準備(1)		履歴書の書き方 (練習用紙への記入、下書き作成、筆記用 具・定規必須)				
	3	就活準 業】	準備(2) 【課 題	夏授	履歴書完成 【期日までに2枚提出】				
	4	就活対	対策(1)		志望動機の作成について(自己 PR 作成、長所・短所) 【パソコン持参】				
	5	就活対	対策(2)		道スポドリルの活用(適性検査) 【WEB 提出、パソコン持参】 企業へのアポイントの取り方				
	6	選考記	式験対策(1)		企業へのアポイントの取り方 選考試験の種類と対策 面接試験対策(基本動作・身だしなみ・事前準備)				
	7	選考詞	式験対策(2)		面接試験対策(基本動作				
	8	究	説明会の参加と企	業研	企業説明会と	:は(参加準備・企	≧業研究)		
	9	学内1 ト提出		ポー]会参加、企業研究	ミレポートの	作成	
	10	選考記	考試験対策(3)		内定礼状の作成 筆記試験対策(時事問題・一般常識テスト・小論文・レポ ート)				
	11	選考記 題授業	式験対策(4) 業】	【課	出)	で課題 (一般常識テ			
	12	就職は	に向けて(1)		社会人基礎力とは(身に付けるべき必要なこと) プレゼンテーション力を身につける				
	13	就職は	に向けて(2)		グループディスカッション				
	14	就職は	に向けて(3)			基礎知識について ♪後の取り組み			
	15	就職は	に向けて(4)			請え(内定後の学 校	注活、未決	定者の今後の取	

担当						
対象年次・学期 3年/2年・前期 担当	授業科目	就職実務〔健康 1〕	教員	齋藤敬男		
対象中人・子前 3 中 / 2 中 · 前前 教員 実務			実務 経験	有:	無:	
経験 担当 教育 実際 担当 教育 実務験	対象年次・学期	3年/2年・前期	担当 教員			
教員 実務 紹 担当員 実務 超 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実際 担当員 実際 担当員 実際 担当員 実際 担当員 実際 担当員 実際 担当員 実際 担当員 実際 担当員 実際 担当員	授業形態		実務 経験			
経験 担当教育			担当 教員			
教員 実務 担当員 実務 担對員 実務験 担對員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験						
経験			担当教員			
教員 実務 経 担 対 実務験 担 対 表 験 担 当 員 実務験 担 当 員 実務験 担 当 員 実 終 と 担 当 員 を 経 り 当 員 も と と り も り も り も り も り も り も り も り も り						
経験 担当員 実務 担当員 実務 経 担当員 実務 担当員 実務 経 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務						
教員 実務 担当員 実務 担当員 実経験 担当員 実経験 担当員 実経験						
経験 担当教員 実務 担当教員 実務 担当教員 実務 担当教員 支務 担当教員 担当教員						
教員 実務 担当 教員 実務 経験 担当 投験 担当 教員						
経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員						
教員 実務 経験 担当 教員						
経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員			担当教員			
教員 実務 経験 担当 教員			実務 経験			
経験 担当 教員			担当教員			
大型 (1) 数員 (1) 数目 (1) 数			実務 経験			
			担当教員			
実務			実務経験			
担当 教員			担当教員			
実務			実務経験			

授業科目	身体の値	解剖と植	機能〔健康 1〕		担当教員	小野寺 良太			
対象年次・学期	1年・減	通年		必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数	30 🗉	時間数	60 時間	
授業目的	人体の	骨名・角	第肉名・神経名な	どの解	解剖学的用語を理解できるようにする。				
到達目標	身体の ⁻ できる。		れの部位の骨や関 する。	節、筋	防肉や神経が、	どのように動い	てどんな機能	を持つのか説明	
テキスト・ 参考図書等	身体	運動の棚	幾能解剖						
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準	隼		
	試験		0						
評価方法・ 評価基準	レポー		0	授業内	りでの試験(小	(テスト) を中心	に提出物、そ	の他(受講姿勢、	
計					態度等)を総合的			(
	その他		10						
履修上の 留意事項		で配布す	-	理する	るファイル(A 4 サイズ)を用意すること。				
履修主題・	回	図 履修主題				履修	内容		
履修内容	1	ガイタ	ブンス		学習達成目標、成績評価、諸注意、その他				
	2	総論			身体の区分・	体軸骨格と付随	骨格		
	3	総論			骨の構造・関	間節の構造、腱・	靭帯の名称を	覚える	
	4	人体を	E構成する骨の名	称	全身の骨名を	覚える			
	5	人体を	₹構成する骨の名	称	脊柱(各部の椎骨)・胸郭を覚える				
	6	復習							
	7		肩関節を構成する R位の名称	る骨	肩甲骨・上腕骨・各部位名称と関節の構成				
	8)肘関節を構成す 『位の名称	る骨	前腕(橈骨・尺骨)の各部位名称と関節の構成				
	9)手関節を構成す 『位の名称	る骨	手の骨と関節の構成・手根管構成				
	10	上肢	きとめ						
	11	の名称			各部位名称と	:殿筋・腹部の筋			
	12)股関節を構成す 『位の名称	る骨	寛骨・大腿骨	骨の各部位名称と	関節の構成		
	13)膝関節を構成す 『位の名称	る骨	膝蓋骨・脛骨	・腓骨の各部位	名称と関節の	構成・半月板	
	14)足関節を構成す 『位の名称	る骨	足根骨と足趾	上の骨と関節名/	アーチの構造	i	
	15	下肢まとめ							
	16	前期内容復習							
	17	上肢の末梢神経			神経支配を覚える				
	18		D末梢神経		神経支配を覚	 える			
	19	経	D運動と筋肉・支		運動における	ら主動筋・支配神	経のまとめ		
	20	関節の 経)運動と筋肉・支	配神	運動における	運動における主動筋・支配神経のまとめ			

21	復習	
22	筋の微細構造	筋線維(細胞)の微細構造
23	筋膜	筋膜の構造
24	神経系の分類と機能	神経系の分類と特徴(脳・脊髄・末梢神経)
25	自律神経	自律神経の働き
26	復習	
27	内臓の名称と機能	各臓器の位置と機能 (循環器系と呼吸器系)
28	内臓の名称と機能	各臓器の位置と機能 (消化吸収とその他の臓器)
29	重点項目のまとめ	
30	総復習	

授業科目	身体の解剖と機能〔健康 1〕	担当教員	小野寺良	太	鍼灸師、アスレティックトレーナ
JAKITH	2 FT V INT LI C IM RECEIR TO	実務 経験	有:	無:	-
対象年次・学期	1年・通年	担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	特別研	修〔共〕	五 1〕		担当教員 山岸 舞					
対象年次・学期	1年・賃	集中		必作	冬・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間		
授業目的	学校生活			. ⊐3	ミュニケーションスキル向上を目指す。スポーツ指導者につ					
到達目標	社会人			ョンを	を取ることが出	来る。スポーツ指	導者とはどの	のような職業か		
テキスト・ 参考図書等										
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・ 評価基準	レポー		0	₩"	2. 数性化点		- 			
可调坐十	サラス 提出物		0	文 語第	分對、	等を総合的に評価	19 වං			
	その他		100							
履修上の 留意事項	特にな	υ .								
履修主題・	回		履修主題			履修内	容			
履修内容	1	オリコ	ロンテーション		特別研修の目	目的、内容について	説明			
	2	挨拶約	東習		気を付け・礼の仕方、発声練習					
	3		な記入方法につい		記入方法(5W1H、語尾の統一、構成、見栄え)					
	4	スポ- あた!	-ツ指導者を目指)1	すに	社会人として必要な能力について(コミュニケーション)					
	5	スポー あた!	- ツ指導者を目指) 2	すに	スポーツ指導者に必要な能力(解剖・生理学、コンディショニング、測定・評価、リハビリテーション、救急処置)					
	6		- ツ指導者を目指	すに	業界にはどのような人材が必要とされているか。					
	7	上講座			コミュニケーションの手法					
	8	上講座			コミュニケーションの実践(少数に対するもの)					
	9	上講座			コミュニケーションの実践 (多数に対するもの)					
	10	いて	、レーニング・主働筋につ Nて 1		トレーニング方法(下半身)、主働筋の暗記					
	11	トレ - いて	−ニング・主働筋 2	につ	トレーニング方法(上半身)、主働筋の暗記					
	12	全体的	を流会 1		トレーニングの実践					
	13	全体的	∑流会 2		トレーニング	がの実践				
	14	まとめ	b			13 のまとめ				
	15	感想文	文記入		履修主題 4~ 施)	13 の感想文の記力	履修主題 4~13 の感想文の記入(記入方法の再確認も実			

授業科目	 特別研修〔共通 1〕	担当 教員	山岸	舞		アスレティックトレーナー、鍼灸
1文未行口	行的机能 (天地一)	実務 経験	有:		無:	師
対象年次・学期	1年・集中	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	一年次福	研究課題	夏 〔健康1〕		担当教員	今北 雄太				
対象年次・学期	1年・賃	集中		必但	多・選択区分	選択	単位数			
授業形態					授業回数	15 回	時間数			
授業目的	与えられ	れた課題	題や問題を学問的	りに深く	く考え、調べ、明らかにする。					
到達目標	調べ、日	明らかに	こした内容をレオ	ぱート等	う う う う う う う う う う う う う う う う う う う	あげる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に	応じて資	資料等配布する							
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験									
評価方法・ 評価基準	レポー		60	فيد ر	ᅡᄽᆌᄓᄳᄵ	の出口をかへから	·≒☑Ææ≠z			
正顺圣 年	サイス 提出物	<u> </u>	0 20	レホ-	- トや提出物寺	の状況を総合的に	三評価する。			
	たの他		20							
履修上の 留意事項	3.010									
履修主題・	回		履修主題			履修[内容			
履修内容	1	基礎相	既論		アスリハの根	腰・考え方・用語	語説明・機能解剖			
	2	基礎相	既論		アスリハの根	援要・考え方・用語	5説明・機能解剖			
	3	基礎概論			リスク管理に	ついて				
	4	運動物	療法の基礎知識と	用語	筋力エクササ	ナイズについて				
	5	運動療	療法の基礎知識と	用語	筋力エクササイズについて					
	6	運動物	療法の基礎知識と	用語	可動域訓練について					
	7	運動療	療法の基礎知識と	用語	神経一筋協調性エクササイズ					
	8	運動療	療法の基礎知識と	用語	全身持久力とアスリハ					
	9	運動物	療法の基礎知識と	用語	身体組成とアスリハ					
	10		方止と外傷予防の の		スポーツ動作とダイナミックアライメント					
	11		方止と外傷予防の		スポーツ動作	■とダイナミック フ				
	12		方止と外傷予防σ		受傷機転とタ	ブイナミックアラ イ	' メント			
	13		方止と外傷予防 <i>σ</i>		動作・姿勢の)観察と評価				
	14	ル	療法と装具・イン		物理療法					
	15	物理療	療法と装具・イン	ソー	リハビリテー	-ションに用いる ^装	長具、歩行と足底挿板			
	16	運動療法の基礎知識と用語			全身持久力と	アスリハ				
	17	運動療	療法の基礎知識と	用語	全身持久力とアスリハ					
	18	運動療	療法の基礎知識と	用語	身体組成とアスリハ					
	19	運動療	療法の基礎知識と	用語	身体組成とアスリハ					
	20	再発際	方止と外傷予防σ	動作	スポーツ動作	■とダイナミック フ	プライメント			

21	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
22	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
23	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
24	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
25	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
26	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
27	物理療法と装具・インソール	物理療法
28	物理療法と装具・インソール	リハビリテーションに用いる装具
29	物理療法と装具・インソール	歩行と足底挿板
30	まとめ・後期試験について	後期まとめ・試験対策

授業科目	一年次研究課題 〔健康 1	担当教員。	
対象年次・学期	1年・集中	担当	
授業形態		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	一年次福	研究課是	夏 〔健康1〕		担当教員	今北 雄太			
対象年次・学期	1年・賃	集中		必何	多・選択区分	選択	単位数		
授業形態					授業回数	15 🛽	時間数		
授業目的	与えられ	れた課是	夏や問題を学問的	りに深く	〈考え、調べ、	明らかにする。			
到達目標	調べ、日	明らかに	こした内容をレカ	パート等	ういてまとめ かんしゅん かんしょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	あげる。			
テキスト・ 参考図書等	必要に	応じて資	資料等配布する						
	評価方法 評価割合(%)					評価基準			
	試験								
評価方法・ 評価基準	レポー		60	1 48		の少いも似る的に	- 並 <i>(</i> 本 -) フ		
可順坐平	小テス 提出物	<u> </u>	20	レホ-	- トや提出物寺	「の状況を総合的	∟評1四9る。		
	その他		20						
履修上の 留意事項		· 200]							
履修主題・	回		履修主題		履修内容				
履修内容	1	アスリートの健康管理について			健康管理体制	』、メディカルチ	ェック		
	2	アス! 対策	リートの内科的障	害と	急性障害の種	種類とその対策			
	3		リートの内科的障	害と	慢性障害の種	重類とその対策 種類とその対策			
	4		Jートの外傷・障	害と	基礎知識、部	『位別にみる外傷	・障害		
	5	アスし	∨ティックリハヒ ョンとトレーニン		アスリハの概説と留意点				
	6	アスし	νティックリハヒ ョンとトレーニン		アスリハの進め方と組み立て				
	7	アス! 生活	Jートの栄養摂取	又と食	5 大栄養素の概要				
	8	コンラ	ディショニングの)手法	ストレッチングの種類と方法				
	9	コンラ	ディショニングの)手法	テーピングの目的と効果、注意事項				
	10	アス! 生活	リートの栄養摂取	又と食	栄養障害と対処法、サプリメント				
	11	特殊環	環境下での対応		水分補給、暑	 熱、寒冷対策			
	12	特殊環境下での対応			高地、時差、感染症対策				
	13	コンラ	ディショニングの)手法	アイシングの)効果、アイスパ	ック作り		
	14	コンディショニングの手法			スポーツマッ	サージの目的と	効果、手技の種類		
	15	コンディショニングの手法			集中力のトレーニング				
	16	運動療法の基礎知識と用語			全身持久力とアスリハ				
	17	運動療	§法の基礎知識と 	用語	全身持久力とアスリハ				
	18	運動療	§法の基礎知識と 	用語	身体組成とア	⁷ スリハ			
	19	運動療	§法の基礎知識と	用語	身体組成とア	⁷ スリハ			
	20	再発防	防止と外傷予防σ	動作	スポーツ動作	Eとダイナミック	アライメント		

21	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
22	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
23	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
24	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
25	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
26	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
27	物理療法と装具・インソール	物理療法
28	物理療法と装具・インソール	リハビリテーションに用いる装具
29	物理療法と装具・インソール	歩行と足底挿板
30	まとめ・後期試験について	後期まとめ・試験対策

授業科目	一年次研究課題 〔健康 1	担当教員。	
対象年次・学期	1年・集中	担当	
授業形態		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	一年次福	研究課是	夏 〔健康1〕		担当教員	今北 雄太			
対象年次・学期	1年・集中			必但	多・選択区分	選択	単位数		
授業形態					授業回数	15 回	時間数		
授業目的	与えられ	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。							
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。								
テキスト・ 参考図書等	必要に	応じて資	資料等配布する						
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		0						
評価方法・ 評価基準	レポー		60	فیہ ر		の小にもかった。	- ≒亚/亚→- >		
計順季 年	小テス 提出物	<u> </u>	20	レホ-	- トや提出物寺	の状況を総合的に	-評価する。		
	その他		20						
履修上の 留意事項									
履修主題・	回		履修主題			履修区	内容		
履修内容	1	基礎:	重心と床反力		バイオメカニクスを学ぶ上で必要な基礎力学について				
	2	基礎:	関節モーメント	•	各種運動時、人体の中でどのようなことが起きているのか				
	3	基礎:	:跳躍動作		跳躍動作に必要な力学について				
	4	基礎:	步行		最も基本と言える動作、歩行について				
	5	基礎:	步行		良い歩行とは何なのか				
	6	応用:	走動作		走る動作について				
	7	応用:	:跳動作		跳ぶ動作について				
	8	下肢((1)	Dスポーツ外傷・	障害	大腿ハムストリングス肉ばなれ / HQ 比				
	9		Dスポーツ外傷・	障害	大腿部打撲/骨化性筋炎/股関節脱臼(脱臼骨折)				
	10		Dスポーツ外傷・	障害	膝 PCL 損傷				
	11	下肢((4)	Dスポーツ外傷・	障害	膝 MCL 損傷				
	12	下肢((5)	Dスポーツ外傷・		膝半月板損傷				
	13	上肢の (1)	Dスポーツ外傷・	障害	肩関節前方脱 鼻)	臼、コンタクトで	ごの外傷・障	害(顔面・目・	
	14	上肢のスポーツ外傷・障 (2)		障害		I、肘 MCL 損傷、			
	15	体幹0	Dスポーツ外傷・	障害	腰椎椎間板へ ディカルチェ	√ルニア、整形外科 :ックの概要	料的メディカ	ルチェック / メ	
	16	運動療法の基礎知識と用		用語	全身持久力と				
	17	運動療	療法の基礎知識と	用語	全身持久力と	アスリハ			
	18	運動療	療法の基礎知識と	用語	身体組成とア	7 スリハ			
	19	運動療	療法の基礎知識と	用語	身体組成とア	7 スリハ			
	20	再発防	方止と外傷予防σ	動作	スポーツ動作	ことダイナミック フ	プライメント		
	21	再発防	方止と外傷予防σ	動作	スポーツ動作	■とダイナミック フ	7ライメント		

22	再発防止と外傷予防の動作	スポーツ動作とダイナミックアライメント
23	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
24	再発防止と外傷予防の動作	受傷機転とダイナミックアライメント
25	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
26	再発防止と外傷予防の動作	動作・姿勢の観察と評価
27	物理療法と装具・インソー ル	物理療法
28	物理療法と装具・インソール	リハビリテーションに用いる装具
29	物理療法と装具・インソー ル	歩行と足底挿板
30	まとめ・後期試験について	後期まとめ・試験対策

授業科目	一年次研究課題 〔健康 1	担当教員。	
対象年次・学期	1年・集中	担当	
授業形態		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	スノー7		・スキー実習		担当教員	小笠原 鷹介			
対象年次・学期	1年・第	集中		必何	多・選択区分	選択	単位数		
授業形態					授業回数	15 回	時間数	60 時間	
授業目的		スキー・スノーボードにおける、基礎技術・知識の習得と向上を目指す。 スキー・スノーボード検定受験により、資格取得を目指す。							
到達目標		冬山における、怪我の予防、ゲレンデマナー及びリスクマネジメントを理解し、指導者としての 資質を身に付ける。							
テキスト・ 参考図書等	必要に	応じて資	資料等配布する。						
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		0						
評価方法・	レポー		10	レポ-	- ト・提出物等	の状況を総合的に	評価する		
評価基準	小テス	١	0		レポート・提出物等の状況を総合的に評価する その他は受講姿勢等で評価する				
	提出物		10 80						
履修上の 留意事項		修という		自己管	管理、時間管理を徹底して行う事。				
履修主題・	回		履修主題		履修内容				
履修内容	1	事前部	说明会		目的、注意事項伝達				
	2	1日目	午後レッスン開	始	各班に分かれ道具の特性・理論等を学ぶ				
	3	1日目	ミーティング		1 日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する				
	4	1日目	ナイター練習		1日目に学んだことを復習する。				
	5	2日目	午前レッスン開	始	1日目より難易度の高い事を学ぶ				
	6	2日目	午後レッスン開	始	1日目より難易度の高い事を学ぶ				
	7	2日目	ミーティング		2日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する				
	8	2日目	ナイター練習		2日目に学んだことを復習する。				
	9	3日目	午前レッスン開	始	2日目より難易度の高い事を学ぶ				
	10	3日目午後レッスン開始			2日目より難易度の高い事を学ぶ				
	11	3日目	ミーティング		3日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する				
	12	3日目ナイター練習			3日目に学ん	だことを復習する	0		
	13	4日目	午前レッスン開	始	各班に分かれ、検定へ向けてレッスンをする				
	14	4日目	 検定		今まで学んた	ことを踏まえて検	定に臨む		
	15	4日目	ミーティング		4日目学んだ	ことを各班で話し	合い、日誌	に記入する	

授業科目	スノーボード・スキー実習	担当教員	小笠原鷹介
1文朱1十口	〔共通 1〕	実務 経験	有: 無:
対象年次・学期	1年・集中	担当教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務経験	

授業科目	ボラン: 1〕	ティア派	舌動 〔共通		担当教員	教員	未定		
対象年次・学期	各学科 年)・集		₹(3年、2	必何	多・選択区分	選択		単位数	
授業形態					授業回数	15 回		時間数	30 時間
授業目的	ボラン	ティア派	舌動を通じて、直	接的に	二実践力を身に	つける。			
到達目標	ボラン	ボランティア活動先における実務遂行を通じてボランティア精神や各種能力・技術力の向上を図 る。							
テキスト・ 参考図書等									
	評価フ	方法	評価割合(%)				評価基準		
	試験		0	ボラン	ノテイア活動先	の担当す	当に、実務	遂行状況に	ついて、相対的
評価方法・ 評価基準	レポー 小テス	-	0		新にて評価して ラス担任間にお				の担当者と当
	提出物	<u>'</u>	0	「ボラ					動状況を把握す
	その他		100	る。					
履修上の 留意事項	ル管理が	が大変፤	であり、ボランテ 重要となります。 がら、目標達成を	活動其	間が有意義な				
履修主題・			履修主題				履修内	容	
履修内容	1		ノティア活動先に <mark></mark> 多遂行	おけ	ボランティア	'活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	2		ノティア活動先に 务遂行	おけ	ボランティア	7活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	3	ボラン る実剤	ノティア活動先に 务遂行		ボランティア	7活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	4		ノティア活動先に 务遂行	おけ	ボランティア	7活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	5		ノティア活動先に 务遂行	おけ	ボランティア	'活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	6	る実績	ノティア活動先に <u>务遂行</u>		ボランティア	7活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	7		ノティア活動先に 务遂行	おけ	ボランティア	7活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	8	ボラン る実剤	ノティア活動先に 务遂行		ボランティア	7活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	9		ノティア活動先に 务遂行	おけ	ボランティア	7活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	10	ボラン	<u>ヵ返り</u> ソティア活動先におり 務遂行		ボランティア	7活動内容	容について	、実務を通	じて学習する
	11		<u>タース</u> ソティア活動先におけ 務遂行		ボランティア	 7活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	12	ボラン る実剤	ルス ンティア活動先におけ 務遂行		ボランティア	7活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	13	る実績	ノティア活動先に 8遂行		ボランティア	'活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	14	る実績	ノティア活動先に 8遂行		ボランティア	'活動内	容について	、実務を通	じて学習する
	15		ノティア活動先に 8遂行	おけ	ボランティア	7活動内容	容について	、実務を通	じて学習する

授業科目	ボランティア活動 〔共通 1〕	担当 教員 実務	
対象年次・学期	各学科就職学年(3年、2年)・	経験 担当	
授業形態	集中	教員 実務 経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験 担当	
		教員実務	
		経験 担当	
		教員 実務	
		経験 担当	
		教員実務	
		経験	

授業科目	検定対策 CO1・S		//T1 • IN1 •		担当教員	田中 いぶき		
対象年次・学期	1年・i	通年		必何	多・選択区分	必修	単位数	
授業形態					授業回数	30 回	時間数	60 時間
授業目的	健康運動	動指導:	上について学び、	健康道	重動実践指導	** 古合格に向けて基礎	楚知識を習得	する。
到達目標	健康運動実践指導者合格に向けた基礎知識の習得							
テキスト・ 参考図書等	健康運動実践指導者養成用テキスト							
	評価フ	方法	評価割合(%)			評価基準	隼	
	試験		0					
評価方法・ 評価基準	レポー	-	0		- 1	, 		**
計画基準	小テス 提出物		40	小ナノ	スト、その他	(受講姿勢、受講態	援等)を総合	的に評価する。
	その他		60					
履修上の 留意事項	3.010							
履修主題・	0		履修主題			履修	内容	
履修内容	1		エンテーション、 指導士について	健康	授業内容説明、評価や諸注意/健康運動指導士の試験について			
	2		研究・読解力演習	!	健康運動指導士・健康運動実践指導者とは 文章問題・漢字			
	3	健康遺策	重動実践指導者試	験対	第1章 健康づくり施策概論			
	4	健康選 策	重動実践指導者試	験対	第1章 健康づくり施策概論			
	5	策	重動実践指導者試		第1章 健康づくり施策概論 作問			
	6	策	重動実践指導者試		第3章 機能解剖とバイオメカニクス			
	7	策	重動実践指導者試		第3章 機	能解剖とバイオメ	カニクス 作	:問
	8	策	重動実践指導者試		第3章 機	能解剖とバイオメ	カニクス 作	:問
	9	策	基動実践指導者試		第4章 栄	養摂取と運動		
	10	策	重動実践指導者試		第4章 栄	養摂取と運動		
	11	策	基動実践指導者試		第4章 栄	養摂取と運動 作	問	
	12	策	基動実践指導者試		前期まとめ			
	13	策			前期まとめ			
	14	健康運動実践指導者試験 策			前期まとめ			
	15	健康選 策	重動実践指導者試	,缺对	前期まとめ	テスト		
	16	策	重動実践指導者試		第5章 運	動指導の心理学的	基礎	
	17	策	重動実践指導者試		第5章 運	動指導の心理学的	基礎	
	18	健康遺	重動実践指導者試	験対	第5章 運	動指導の心理学的	基礎 作問	

19	健康運動実践指導者試験対策	第6章 体力測定と評価
20	健康運動実践指導者試験対 策	第6章 体力測定と評価
21	健康運動実践指導者試験対策	第6章 体力測定と評価 作問
22	健康運動実践指導者試験対 策	第7章 健康づくりと運動プログラム
23	健康運動実践指導者試験対策	第7章 健康づくりと運動プログラム
24	健康運動実践指導者試験対 策	第7章 健康づくりと運動プログラム 作問
25	健康運動実践指導者試験対策	第9章 運動障害と予防・救急処置
26	健康運動実践指導者試験対策	第9章 運動障害と予防・救急処置
27	健康運動実践指導者試験対策	第9章 運動障害と予防・救急処置 作問
28	健康運動実践指導者試験対 策	後期まとめ
29	健康運動実践指導者試験対 策	後期まとめテスト
30	まとめテスト	まとめテスト

授業科目	検定対策 〔MT1・IN1・CO1・	担当教員	田中いがき
1X ** 11**	SB1)	実務 経験	有: 無:
対象年次・学期	1年・通年	担当 教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務経験	
		担当 教員	
		実務経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
			·

授業科目	インタ・ CO1・		ップ (IN1・	担当教員	小笠原 鷹介					
対象年次・学期				必修・選択区分		単位数				
授業形態				授業回数	15 回	時間数				
授業目的	グルー	グループレッスンを企画・実施し職業理解を深めることができる								
到達目標	グルー	グループレッスンの企画や集客等を経験し、今後の活動に活かすことができる								
テキスト・ 参考図書等										
	評価	方法	評価割合(%)		評価基準					
	試験		0							
評価方法・ 評価基準	レポー		50							
可顺坐十	小テス 提出物	Γ	0							
	その他		50							
履修上の 留意事項										
履修主題・	回		履修主題		履修内容					
履修内容	1	事前学	智							
	2	事前等	智							
	3	事前等	智							
	4	事前学	2習							
	5	事前学	2習							
	6	事前与	결							
	7	事前与	² 習							
	8	現場到								
	9	現場第	E習 ————————————————————————————————————							
	10	現場第								
	11	現場第								
	12	現場第								
	13	現場第								
	14	現場第								
	15	現場到	[智							

授業科目	インターンシップ〔IN1・CO1・	担当教員	小笠原鷹介
JXXIII	TR1)	実務 経験	有: 無:
対象年次・学期		担当 教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	フィットネストレーナー実習 〔IN1〕			担当教員	今北 雄太				
対象年次・学期				必何	多・選択区分			単位数	
授業形態					授業回数			時間数	
授業目的				•					
到達目標									
テキスト・ 参考図書等									
	評価ス	方法	評価割合(%)				評価基準		
	試験								
評価方法・	レポー	+							
評価基準	小テス	+							
	提出物								
	その他								
履修上の 留意事項									
履修主題・	0		履修主題		履修内容				
履修内容									

授業科目	フィットネストレーナー実習 〔IN1〕	担当教員	
		経験	
対象年次・学期		担当 教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	スポー)	ツと指導	算者 〔健康		担当教員	吉田 聡美			
対象年次・学期	1年・道	通年		必作	き・選択区分	必修	単位数		
授業形態	講義及7	びこれま	までの体験の共		授業回数		時間数		
授業目的	の特性を	を把握し		た指導	∳やトレーニン		において対象者のそれぞれ 心理、医学的知識(けが、		
到達目標	に付ける	る。	として、対象者の自分自身を成長さ				基本的な知識や考え方を身		
テキスト・ 参考図書等	Reference Book(公益財団法人日本スポーツ協会) 基礎から学ぶスポーツ心理学 資格に役立つスポーツ心理学ワークブック								
	評価ス	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		80						
評価方法・ 評価基準	レポー	-	0	授業内	りで行うテスト	及び課題等の提出	出物、その他(受講姿勢、受講		
们顺坐十						平価する。	·		
	その他		10						
履修上の 留意事項	2.授業に伴うる	<header-cell>い 課題や 確かな知</header-cell>	テストで理解度の)確認 よう前	を実施する。な 前向きな姿勢を		クブック) 尊者となる意識を高め、それ 。知識の財産を蓄え、スポ		
			履修主題		1 2 7 10	履修风			
履修主題・ 履修内容	1	コーラ	チングとは		<ガイダンス> コーチングとコーチを定義する / グッドプレーヤーを育 てるグッドコーチ				
	2	コーラ	チングとは		コーチングの目的としての 4C's / プレーヤーズセンタード なコーチング				
	3	コーチ	チに求められる役	割	指導者が負う責任と求められる役割/コーチの果たすべき 役割/ 安全なスポーツ環境の構築(予防)と問題発生時の対処法 /効果的な指導方法				
	4		-ツ事故における。 指導者の法的責任		スポーツ指導者が負う法的責任 / スポーツ指導者の負う注 意義務 (過失責任) / 具体的な注意義務 / 具体的な事故事案				
	5	ーツ指	-ツ事故における。 指導者の法的責任		免責同意の有効性/スポーツ事故のリスクマネジメント				
	6	コーラ スキノ	Fに求められる知 V	識と			也者の知識/対自己の知識		
	7	対他都	首力を磨こう		言語コミュニ	ニケーション/5W	言語的コミュニケーション/ 2H 等		
	8	対他都	首力を磨こう		ムワーク		シップスキル/PM 理論/チー		
	9	対他者	省力を磨こう		/効果的な伝:	え方/チームミーラ	報収集しニーズを知る/承認 ーィング		
	10	対他都	首力を磨こう		ファシリテー え方	-ションスキル/状	況を把握/集団への配慮と伝		
	11	対他都	首力を磨こう		その他対他者	ばスキル/承認/傾取	恵/カウンセリングとは		
	12	対他都	首力を磨こう			が/自己分析/自己理			
	13	対他者	首力を磨こう		ロールする方	法	適切な覚醒水準/自己コント		
	14	対他者	首力を磨こう		さまざまな思 /自己効力感	3考法や伝達方法/	積極的思考/合理的思考方法		
	15	対他都	首力を磨こう				計画を立てて実施		
	16	スポ	ツ仲裁		スポ ツに対する粉砕解決と問題点/スポーツ仲裁とは/ (公財)日本スポーツ仲裁機構(JSAA)/スポーツ仲裁裁				

		判所 (CAS)
17	スポーツ倫理	スポーツ倫理が問題となる事案 / フェアプレーの精神 / スポーツの価値を体現すべきスポーツ指導者として
18	時代をリードするコーチン グ	女性コーチの活躍とスポーツを通した女性の社会進出/女性アスリートの障害と対策/スポーツによる精神障害と対策
19	心のトレーニング	スポーツにおける動機づけ/目標設定
20	心のトレーニング	集中力/集中力が乱れる要因/集中力を高める方法
21	心のトレーニング	イメージトレーニングの効果/イメージトレーニングの方 法/実力発揮/競技力向上
22	心のトレーニング	あがり/プレッシャー/スランプ/他者観察/個人差を考慮し た指導/能力差を考慮した指導方法/学習理論
23	コーチング環境の特徴	ジュニア期のコーチングの留意点 / 年齢区分からみたコーチングの留意点 / トレーニングの至適年齢 /発育発達段階に応じた指導方法
24	コーチング環境の特徴	遺伝の影響 / 運動部活動でのコーチングの留意点/中学生・高校生の心理と運動の特徴の理解
25	コーチング環境の特徴	中高年者へのコーチング(運動指導)の留意点/運動を継 続するためのアプローチ/TTM
26	コーチング環境の特徴	性別の考慮 女性の身体の特徴/摂食障害
27	コーチング環境の特徴	性別の考慮 性別・文化の考慮
28	ハイパフォーマンススポー ツにおける効果的なコーチ ング	ハイパフォーマンススポーツとは何か?/社会的な影響と 役割
29	ハイパフォーマンススポー ツにおける効果的なコーチ ング	ハイパフォーマンススポーツの本質~良き競い合い~
30	まとめ	振り返り/共有/総括

授業科目	スポーツと指導者 〔健康 1〕	担当 教員	吉田聡美		スポーツメンタル上級指導士/コ
1文未代口	スポープと指导省 「健康」	実務 経験	有:	無:	ーチングデベロッパー
対象年次・学期	1年・通年	担当 教員			
授業形態	講義及びこれまでの体験の共 有	実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	検定対策 〔MT1・IN1・ CO1・SB1〕			担当教員 喜多 奎介					
対象年次・学期				必何	修・選択区分		単位数		
授業形態					授業回数 時間数				
授業目的	健康運動実践指導者合格に向けて理論対策を行い、重要な章の理解度を深める。								
到達目標	健康運動実践指導者認定試験合格レベルへの到達、健康運動実践指導者に求められる知識を習得 する。								
テキスト・ 参考図書等									
	評価方	庁法	評価割合(%)			評価基準			
	試験								
評価方法・ 評価基準	レポー		40	授業原	態度、提出物 <i>の</i>)取り組み状況等を	と踏まえて総1	会的に判断す	
TIM **	サイス 提出物	<u> </u>	40 20	る。					
	その他		40						
履修上の 留意事項	C 43/18								
履修主題・	0		履修主題			履修[内容		
履修内容	1		運動実践指導者デ 要項目	キス	2章の重要項	目総まとめ①			
	2		運動実践指導者デ 要項目	キス	2章の重要項目まとめ②				
	3		運動実践指導者テ ^{要項目}	キス	2章の重要項目まとめ				
	4	ト重要	運動実践指導者テ ^{要項目}		2章の重要項目まとめ				
	5	ト重要	運動実践指導者テ ^{要項目}		2 草の重要項目まとの				
	6	ト重要	運動実践指導者テ 要項目		2 早里女児日総よこの				
	7	ト重要	重動実践指導者を 要項目		2 早投業内小アスト				
	8	ト重要	重動実践指導者を 要項目		8 早里安垻日まとの①				
	9	ト重要	運動実践指導者デ 要項目		8 章重要項目	まとめ②			
	10	ト重要	重動実践指導者を 要項目		8 章重要項目まとめ				
	11	ト重要	重動実践指導者を 要項目		8 章重要項目	まとめ			
	12	ト重要	重動実践指導者を 要項目		8 章重要項目	まとめ			
	13	13 健康運動実践指導者テキス ト重要項目			8 早里安垻日総まとの				
	14		重動実践指導者デ 要項目	キス	8 章授業内小	トスト			
	15	総まと	ニめ		2章・8章総復習				

授業科目		(MT1 · IN1 · CO1 ·	担当教員	喜多奎介		健康運動実践指導者
1XX17 LI	SB1)		実務 経験	有:	無:	医冰层到天 城11号日
対象年次・学期			担当 教員			
授業形態			実務 経験			
			担当 教員			
			実務 経験			
			担当 教員			
			実務 経験			
			担当 教員			
			実務 経験			
			担当 教員			
			実務 経験			
			担当教員			
			実務 経験			
			担当教員			
			実務 経験			
			担当教員			
			実務 経験			
			担当教員			
			実務 経験			
			担当教員			
			実務 経験			

授業科目	ストレッチ [IN1・CO1・ TR1]			担当教員	北村 浩人					
対象年次・学期	1年前其	期		必何	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態	実技	実技			授業回数		時間数			
授業目的	基礎解語	基礎解剖学を理解し、直接人の身体に触れ筋肉の起始停止にそって施術を行えるようにする。								
到達目標	基礎解剖学を理解し、安全で的確に伸ばしたい部位にストレッチを行う事ができる。									
テキスト・ 参考図書等	パートナーストレッチスタンダード									
	評価フ	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・	レポー	-	0							
評価基準	小テス		0	その作	也(受講姿勢、出席日数)を総合的に評価する。					
	提出物		100							
履修上の 留意事項		対しての		その他 100 各章に対しての出題						
居修士 .	回		履修主題			履修[内容			
履修主題・ 履修内容	回 1		履修主題 〜ナーストレッチ 戦を学ぶ。	-の基	パートナーフ	履修!		•		
		礎知證	ナーストレッチ				:構成を学ぶ	-		
	1	礎知語 下肢 /	〜ナーストレッチ 戦を学ぶ。	習	ハムストリン	ストレッチの特徴と	∠構成を学ぶ	ーチ。		
	1 2	礎知識 下肢 フ 下肢 フ	〜ナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技縛	(컴 (컴	ハムストリン	、トレッチの特徴と ・グス、大腿四頭第	≃構成を学ぶ 第へのアプロ 第、大殿筋へ	ーチ。		
	1 2 3	礎知語 下肢プ 下肢プ 下肢プ	〜ナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網	·習 ·習	ハムストリン ハムストリン 大殿筋、下腕	、トレッチの特徴と ・グス、大腿四頭角・グス、大腿四頭角	≃構成を学ぶ 第へのアプロ 第、大殿筋へ	ーチ。		
	1 2 3 4	礎知語 下肢プ 下肢プ 下肢プ	- ナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網	習 (習 (習) (習)	ハムストリン ハムストリン 大殿筋、下版 下肢全体への	(トレッチの特徴と /グス、大腿四頭角 /グス、大腿四頭角 退部へのアプローチ (で)アプローチ復習。 で)アプローアプロー	<構成を学ぶ	ーチ。 のアプローチ		
	1 2 3 4 5	礎知記下肢下肢下肢	〜ナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網	TE T	ハムストリン ハムストリン 大殿筋、下版 下肢全体への 今まで学んた 践形式で施術	(トレッチの特徴と グス、大腿四頭角 グス、大腿四頭角 と 大腿のアプローチ のアプローチ復習。 ご下肢へのアプロー で行う。 ご下肢へのアプロー	-構成を学ぶふへのアプロが、大殿筋へ←。ーチ方法を組	ーチ。 のアプローチ み合わせて、実		
	1 2 3 4 5 6	礎知 下 下 下 下 下 た た た た た た た た た た た た た	トナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網		ハムストリン ハムストリン 大殿筋、下版 下肢全体への 今までずんた 践形式で施術 今まで学んた	ストレッチの特徴と グス、大腿四頭角 グス、大腿四頭角 部へのアプローラ アプローチ復習。 下肢へのアプロー でを行う。 で下肢へのアプロー でを行う。	-構成を学ぶふへのアプロが、大殿筋へ←。ーチ方法を組	ーチ。 のアプローチ み合わせて、実		
	1 2 3 4 5 6 7	礎知り 下下肢 下下肢 下下肢 下下肢 下上肢	ナーストレッチ 機を学ぶ。ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実践網 ストレッチ実践網 ストレッチ実践網		ハムストリン ハムストリン 大殿筋、下版 下肢全体へが 今ま形式で学んが 今までで施術 今まででで施術 今まででで施術 うまででで施術	ストレッチの特徴と グス、大腿四頭角 グス、大腿四頭角 部へのアプローラ アプローチ復習。 下肢へのアプロー でを行う。 で下肢へのアプロー でを行う。	構成を学ぶ流へのアプロが、大殿筋へた。チ方法を組チ方法を組	ーチ。 のアプローチ み合わせて、実		
	1 2 3 4 5 6 7 8	礎 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 た た た た た た た た た	マナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実践網 ストレッチ実践網 ストレッチ実践網		ハムストリン ハムストリン 大殿筋、下肢全体への 今ま形式でごの 今ま形式ででがんた 大き形式ででがいた。 大きないででである。 大きないでは、 たちないでは、 たちないでもなり、 たちないでもなりでもなり、 たちないでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなりでもなり	(トレッチの特徴と グス、大腿四頭角 グス、大腿四頭角 と 大腿四頭角 と 大腿四頭角 と 下間のアプローチ を 行う。 と 下肢へのアプロー で 下肢へのアプロー で 下肢へのアプロー で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	構成を学ぶ流へのアプロが、大殿筋へ・チ方法を組・チ方法を組・チ・	ーチ。 のアプローチ み合わせて、実		
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	礎下下下下 下 上上上上上	マナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実践網 ストレッチ実践網 ストレッチ実践網 ストレッチ実技網		ハムストリン ハムストリン 大殿筋、下肢をで式で式で式でいる。 内の大き形があれば、 大殿をで式ですでがいたが、 大成が、大阪が、大阪が、大阪が、大阪が、大阪が、大阪が、大阪が、大阪が、大阪が、大阪	(トレッチの特徴と グス、大腿四頭所 グス、大腿四頭所 がフ、大腿四頭所 のアプローチ をでした。 で下肢へのアプロー で下た行う。 で下た行う。 でアプローチ。 かアプローチ。 かアプローチを でアプローチを でアプローチを	構成を学ぶ流へのアプロ流、大殿筋へチ。チ方法を組チ方法を組チトレッチ。	ーチ。 のアプローチ み合わせて、実 み合わせて、実		
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	礎下下下下下下上上上上知肢肢肢肢肢肢肢肢肢肢 肢 肢 肢 肢 肢 し	マナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実践網 ストレッチ実践網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網		ハムストリンストリンストリンスストリンスストリンスストリンスストリンストリンストリン	ストレッチの特徴と グス、大腿四頭所 グス、大腿四頭所 グラアプローチ復習。 で下肢へう。 で下肢つのアプロー で下肢つのアプロー でプローチ。 でプローケアプローのアプロー ででででのアプロー でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	構成を学ぶ流へのアプロ流、大殿筋へ子。子方法を組チ。チ・ナーチ。ストレッチ。チ・チカ法を組	ーチ。 のアプローチ み合わせて、実 み合わせて、実		
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	礎下下下下 下 下上上上上上 上知肢 肢 肢 肢 肢 肢 肢 肢 肢 肢 皮 し	マナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実践網 ストレッチ実践網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網		ハムス 所 全で式で式腕、 の 全で式で式腕、 の 全で式で式腕、 の 全で式で式で 肩 ア 体学で学での 肩 ア 体学で学でが 原 ア 体学で学でが たががり かんがん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん か	(トレッチの特徴と グス、大腿四頭所 グス、大腿四頭所 グス、大腿四頭所 でアプローチ で下肢つののでででしている。 で下肢つののでででしている。 でではないのででのででででしている。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	構成を学ぶ行への大殿筋のテ・チ・カー・チ・カー・チ・カー・チ・カー・チャー・チャー・チャー・チャー・チャー・チャー・チャー・チャー・チャー・チャ	ーチ。 のアプローチ み合わせて、実 み合わせて、実 み合わせて、実		
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	礎下下下下 下 下上上上上上 上知肢 肢 肢 肢 肢 肢 肢 肢 肢 肢 皮 し	マナーストレッチ 戦を学ぶ。 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実践網 ストレッチ実践網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網 ストレッチ実技網		ハムスス 筋 全で式で式腕、 の 全で式で式腕、 の 全で式で式腕、 の 全で式で式一角 ア 体学で学でがったがの	ストレッチの特徴と グス、大腿四頭所 グス、大腿四頭所 がクス、大腿四頭所 がクストで 一手で ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででのでのでのでのででのででででででででででででででででででででででででで	構成を学ぶのの大人である。・チンクを組まります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。・チンクをはまります。<th>ーチ。 のアプローチ み合わせて、実 み合わせて、実 み合わせて、実</th>	ーチ。 のアプローチ み合わせて、実 み合わせて、実 み合わせて、実		

授業科目	ストレッチ〔IN1・CO1・TR1〕	担当教員	北村浩人		ストレッチトレーナー
1文朱1十口	Z P P P C (INT - COT - INT)	実務 経験	有:	無:	X109310 3
対象年次・学期	1 年前期	担当 教員			
授業形態	実技	実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			

授業科目	健康づ 1〕	くり運動	か実際〔健康		担当教員	小柳 圭太				
 対象年次・学期	1 年・追	 通年		必但		 必修・2 単位	単位数			
							時間数			
授業目的	基礎的	水中運動	か、エアロビック	ソダンフ	くの安全で適切	な指導方法につい	て実習を通り	して学ぶ。		
到達目標			曽進を目的とした 壁を身につける。	:代表的	的な運動の実践	を通して楽しく、	安全に健康で	づくり運動を指		
テキスト・参考図書等	プリント、DVD									
	評価フ	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・ 評価基準	レポー		0	小テス	ストでは模擬詞	験での評価とする	3			
計測基準	小テス 提出物	<u> </u>	50			講姿勢等で評価す				
	をの他		10							
履修上の 留意事項	スタジ	としての	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	し取り	組んで行きま	運動実践指導者に しょう。皆さん自 けられるよう学ん	身の指導実施			
			履修主題	н ін С	Содисэ	履修 [
履修工題	1	オリコ	ニンテーション		授業内容・形式、施設の利用法、諸注意等の説明 / W- up・C-down					
	2	班分片	ナテスト			<u>'</u> こる能力テスト				
	3	クロ-	-ル		水泳の基本姿	 S勢・キック・ス l	トローク			
	4	クロ-	-ル		キック・ストローク					
	5	クロ-	-ル		呼吸動作・コンビネーション					
	6	クロ-	-ル		呼吸動作・コンビネーション・ターン・能力テスト					
	7	平泳き	Ę		キック・ストローク					
	8	平泳さ	Ĕ		キック・ストローク					
	9	平泳き	Ĕ		キック・ストローク					
	10	平泳さ	<u> </u>		キック・ストローク・コンビネーション					
	11	平泳さ	Ť		キック・スト	ーローク・コンビス	ネーション			
	12	平泳さ	<u> </u>		キック・スト	-ローク・コンビ	ネーション	・能力テスト		
	13	クロ-	-ル・平泳ぎ		クロール・平	☑泳ぎ(20m・40r	m)			
	14	クロ-	-ル・背泳ぎ		クロール・平	☑泳ぎ(20m・40r	m)			
ļ.	15	着衣才	K泳		着衣水泳・安	2全水泳				
	16	オリコ	ニンテーション		自己紹介、授	受業について、諸語	主意など / W	/-up · C-down		
	17	レッス	スン		初心者向けし	/ ッスン				
	18	レッス	スン		初心者向けし	/ ッスン				
	19	レッス	スン		ステップのタ	}類、運動強度と難	維易度の理解			
	20	レッス	スン		ステップの分類、運動強度と難易度の理解					
	21	レッス	スン		ステップの分類、運動強度と難易度の理解					
	22	レッス	マン		ステップのケ	}類、運動強度と難	ステップの分類、運動強度と難易度の理解			

23	技術練習	基本動作の習得
24	技術練習	基本動作の習得
25	技術練習	基本動作の習得
26	技術練習	基本動作の習得
27	チームエアロビック	振り付け
28	チームエアロビック	振り付け
29	チームエアロビック	振り付け
30	期末試験	試験

授業科目	健康づくり運動の実際(健康1)	担当教家	
対象年次・学期	1年・通年	担当 教員	
授業形態		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	

対象年次・学期 1年・後期 必修・選択区分 単位数								
授業形態 授業回数 時間数								
の全体的なプロセスを体験します。学生たちが創造力を発揮し、プロジェクトを成 授業目的 の計画力、問題解決力、プレゼンテーションスキルを身につけることを目的として た、講師によるレッスン体験を通して、プロフェッショナルな制作プロセスやアブ を深めます。	この授業では、実践的な制作スキルとチームでの協働能力を育成しながら、スタジオプログラム の全体的なプロセスを体験します。学生たちが創造力を発揮し、プロジェクトを成功に導くため の計画力、問題解決力、プレゼンテーションスキルを身につけることを目的としています。ま た、講師によるレッスン体験を通して、プロフェッショナルな制作プロセスやアプローチの理解 を深めます。							
能力を習得する。 プロジェクト管理能力の習得 ・プロジェクト計画の立案から実行までを自主的になる。 チームワークの実践 ・グループプロジェクトを通じて、他者と協力しながら目がを培う。 プレゼンテーションスキルの向上 ・自らの作品やプロジェクトを効果的に説明し、カウを活用する能力を身につける。	制作スキルの向上 ・ツールや技術を活用して、自らのアイデアを具体的な成果物に落とし込む能力を習得する。 プロジェクト管理能力の習得 ・プロジェクト計画の立案から実行までを自主的に進められるようになる。 チームワークの実践 ・グループプロジェクトを通じて、他者と協力しながら目標を達成する力を培う。 プレゼンテーションスキルの向上 ・自らの作品やプロジェクトを効果的に説明し、フィードバックを活用する能力を身につける。 創造的思考の育成 ・課題解決や新しいアイデアの提案を通じて、柔軟かつ創造的な思考を鍛え							
テキスト・ 参考図書等 手持ちのテキスト主に使用し、実技を中心に行う。 手持ちの参考書を主に使用し。実技を中心に行う。								
評価方法 評価割合(%) 評価基準								
評価内容 実技試験								
評価方法・ 評価内容	ャレンジができ							
評価 <u>基準</u> 評価割合 90 ているかどうか。								
評価割合 10								
履修上の 安全面を第一に考え、授業を聞き、不明点は積極的に質問するなどし、積極的に授留意事項 ことを留意点とする。	受業に参加する							
履修主題・ 回 履修主題 履修内容 履修内容								

授業科目	スタジオプログラム〔IN1〕	担当教員実務	
対象年次・学期	1 年・後期	経験 担当	
	· -	教員 実務	
授業形態		経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	

授業科目	運動遊びと	安全管理〔IN1〕	担当教員	今北 雄太		
対象年次・学期			必修・選択区分		単位数	
授業形態			授業回数		時間数	
授業目的						
到達目標						
テキスト・ 参考図書等						
	評価方法	評価割合(%)		評価基準		
評価方法・	試験	0				
評価基準	レポート	60				
	小テスト	0				
	提出物	0				
履修上の 留意事項						
履修主題・	回	履修主題		履修[内容	
履修内容						

授業科目	運動遊びと安全管理〔IN1〕	担当教員	
		実務経験	
対象年次・学期		担当教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当	
		実務経験	

授業科目	カレッジイベント 〔健康 1〕			担当教員	菊地 健太	旦当教員 菊地 健太			
対象年次・学期	1年・第	・集中		必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間	
授業目的	イベン	イベントを楽しく成功させる為の方法をディスカッションを通じ企画する事を目的とする。							
到達目標	誰もが剝	誰もが楽しめるイベントを目指す。							
テキスト・ 参考図書等	必要に原	必要に応じて資料を配布。							
	評価方	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		0						
評価方法・	レポー	-	20		- ► 20%				
評価基準	小テス	7	0		勿 20% 4 60%(受請	表次執 巴达能度等 30% 切出所目 30%)			
	提出物		20	_					
	その他	上。加斯	60	 用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツール					
履修上の 留意事項	して『コ	コミュニ	ニケーション』は	とても	大切です。社	より。、人との信念 会人に向けての大			
	て、真剣	<u> 削に目を</u> 	<u>分と向き合ってみ</u> 履修主題	ましょ	: う。 		物容		
履修主題・ 履修内容	1	カレッ			イベントの内容説明				
	2	役割分			執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定				
	3	リハー			各種目のルール、及び実践確認				
	4	イベン	 /ト実施		スポーツ大会				
	5	振り返			レポート作成、提出				
	6	カレッ		!	イベントの内容説明				
	7	役割分	 }担		執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定				
	8	リハー	-サル		各種目のルール、及び実践確認				
	9	イベン	ノト実施		スポーツフェスティバル				
	10	振り返	 ≦IJ		レポート作成、提出				
	11	カレッ		!	イベントの内				
	12	役割分担			執行部、委員	、イベント参加者	 长、展示担当	者の決定	
	13	リハーサル			執行部、委員、イベント参加者、展示担当者 当日準備				
	14	イベン	 ノト実施		学園祭				
	15	振り返	<u>ร</u> ์บ		レポート作成	は、提出			

授業科目	カレッジイベント 〔健康 1〕	担当教員	田中いぶき		
322116	TO TO THE SECOND	実務 経験	有: 無	{ :	
対象年次・学期	1年・集中	担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務経験			
		担当			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務経験			

授業科目	こどもスポーツ実習 〔IN1〕				担当教員	今北 雄太			
対象年次・学期	1年・演	通年		必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数	30 回	時間数		
授業目的			り特徴や発育発達 身につけることを			また、レッスンに	おける指導を	を通じて運動指	
到達目標	子どもの	子どもの発育発達段階に合わせた基本的な運動指導ができる。							
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布								
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		0						
評価方法・	レポー		0	提出集	勿 50%				
評価基準	小テス	١	0			講姿勢、受講態度 3	80% 担当所	f見 20%)	
	提出物		50 50						
 履修上の		たちが						盟わりを期待し.	
留意事項	ます。	C 5 13 9		1175.9		エに欠びむりなり	り行列でいる。	美月7.7 を 新月 0.0	
履修主題・	回		履修主題		履修内容				
履修内容	1	オリコ	ロンテーション		授業内容の説明、実習における心構えについて				
	2	子ども	らへの運動指導方	法	子どもの発育発達について				
	3	子ども	らへの運動指導方	法	子どものやる気を引き出す声掛けについて				
	4		実践の事前学習 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		現場指導における留意点、ルールについて				
	5	導補即	•	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	幼児期の運動指導				
	6	導補即	•		幼児期の運動指導				
	7	体育 / 導補助	スクール(キッス カ	() 指	幼児期の運動指導				
	8	振り込			改善点の抽出と改善方法の提案				
	9		スクール(キッス カ(改善案の導 <i>入</i>		提案した改善方法の効果検証				
	10	ズ)打	ミングスクール(_旨 導補助		幼児期の運動指導				
	11	ズ)扌	ミングスクール (指導補助		幼児期の運動指導				
	12		ミングスクール (指導補助	キッ	幼児期の運動	加指導			
	13	振り込			改善点の抽出	さと改善方法の提案	Ē		
	14		ミングスクール(指導補助(改善案		提案した改善方法の効果検証				
	15	まとめ			幼児期の運動	加指導実習総括			
	16	体育スクール(ジュニア) 指導補助			ジュニア期の運動指導				
	17	指導衫			ジュニア期の)運動指導			
	18	体育ス 指導剤	スクール(ジュニ 輔助	ア)	ジュニア期σ)運動指導			
	19	振り込	ฐเว		改善点の抽出	さと改善方法の提案	₹		

20	体育スクール(ジュニア) 指導補助(改善案の導入)	提案した改善方法の効果検証	
21	スイミングスクール (ジュニア) 指導補助	ジュニア期の運動指導	
22	スイミングスクール (ジュニア) 指導補助	ジュニア期の運動指導	
23	スイミングスクール (ジュニア) 指導補助	ジュニア期の運動指導	
24	振り返り	改善点の抽出と改善方法の提案	
25	スイミングスクール (ジュ ニア) 指導補助	提案した改善方法の効果検証	
26	新体操(ジュニア)指導補助	ジュニア期の運動指導	
27	新体操(ジュニア)指導補助	ジュニア期の運動指導	
28	ダンス (ジュニア) 指導補助	ジュニア期の運動指導	
29	ダンス (ジュニア) 指導補助	ジュニア期の運動指導	
30	まとめ	ジュニア期の運動指導実習総括	

授業科目	こどもスポーツ実習 〔IN1〕	担当教員	今北雄太		スポーツ指導員
1X*17 L	CCOXX 7XI (III)	実務 経験	有:	無:	7/1 7/11-9-Q
対象年次・学期	1年・通年	担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務経験			
		担当教員			
		実務経験			
		担当教員			
		実務経験			
		担当教員			
		実務経験			
		担当教員			
		実務経験			
		担当教員			
		実務経験			
		担当 教員			
		実務経験			
			<u> </u>		